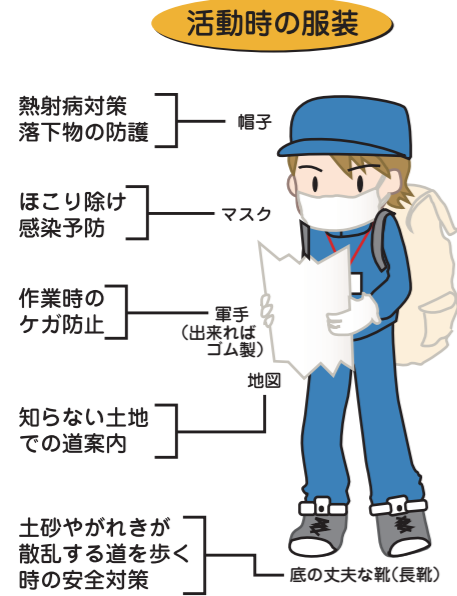


活動時の服装・持参するもの（例）

※自分の持ち物は自分で管理してください。
※ライフライン、その他必要な準備物について、必ず事前に現地の情報をご確認ください。



被災地外からできる支援のいろいろ

被災者の生活再建を支援

- ◆支援物資を送る
飲料水・衣類（新品）・毛布・冷暖房具など
- ◆義援金を送る
被災者個人の生活復興に直接役立てられる支援金です。
【義援金の主な受付窓口】 ●都道府県共同募金会 ●日本赤十字社

需要があればこそその救援物資！

- ★災害ボランティア本部や災害ボランティアセンターへ事前に問い合わせましょう。
- ◆段ボール1箱につき1種類！
- ★1つの箱にいろいろなものを詰めると現地では仕分けが大変です。中身がすぐ分かるように物資の種類と個数を表示しましょう！



現地で活動するボランティアを支援

- ◆活動物資を送る 飲料水・ヘルメット・長靴・雨具・粉塵用マスク・タオル・軍手など
- ◆ボランティア活動支援金を送る
被災地で活動するボランティアの滞在費や備品類、また、災害ボランティアセンターの運営費等に活用されます。
【支援金の主な受付窓口】 ●被災地の社会福祉協議会



災害ボランティア募集の情報は…

災害発生時の災害ボランティアの募集は、下記のホームページに掲載します。掲載情報を十分に確認の上、ご協力をお願いします。

奈良県社会福祉協議会 ホームページ（県社協災害専用ページ） <http://www.nara-shakyo.jp/>

また、奈良県青少年・社会活動推進課では、県内で開催されるイベント等、ボランティア活動に参加したいとご希望にお応えするため、随時ボランティア登録者を募集しています。

登録時に活動分野を「災害」に設定していただくと、災害に関わるボランティア情報についても提供します。

奈良県青少年・社会活動推進課
登録ボランティア制度ホームページ <http://www.pref.nara.jp/23324.htm>

【企画】奈良県青少年・社会活動推進課 〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30
TEL：0742-27-8715 FAX：0742-27-9574 <http://www.naravn.jp/>

【発行】社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320-11
TEL：0744-29-0155 FAX：0744-26-0234 <http://www.nara-shakyo.jp>

（平成30年11月）

ご存知ですか？

災害ボランティアセンター

県内で災害が起こったら…

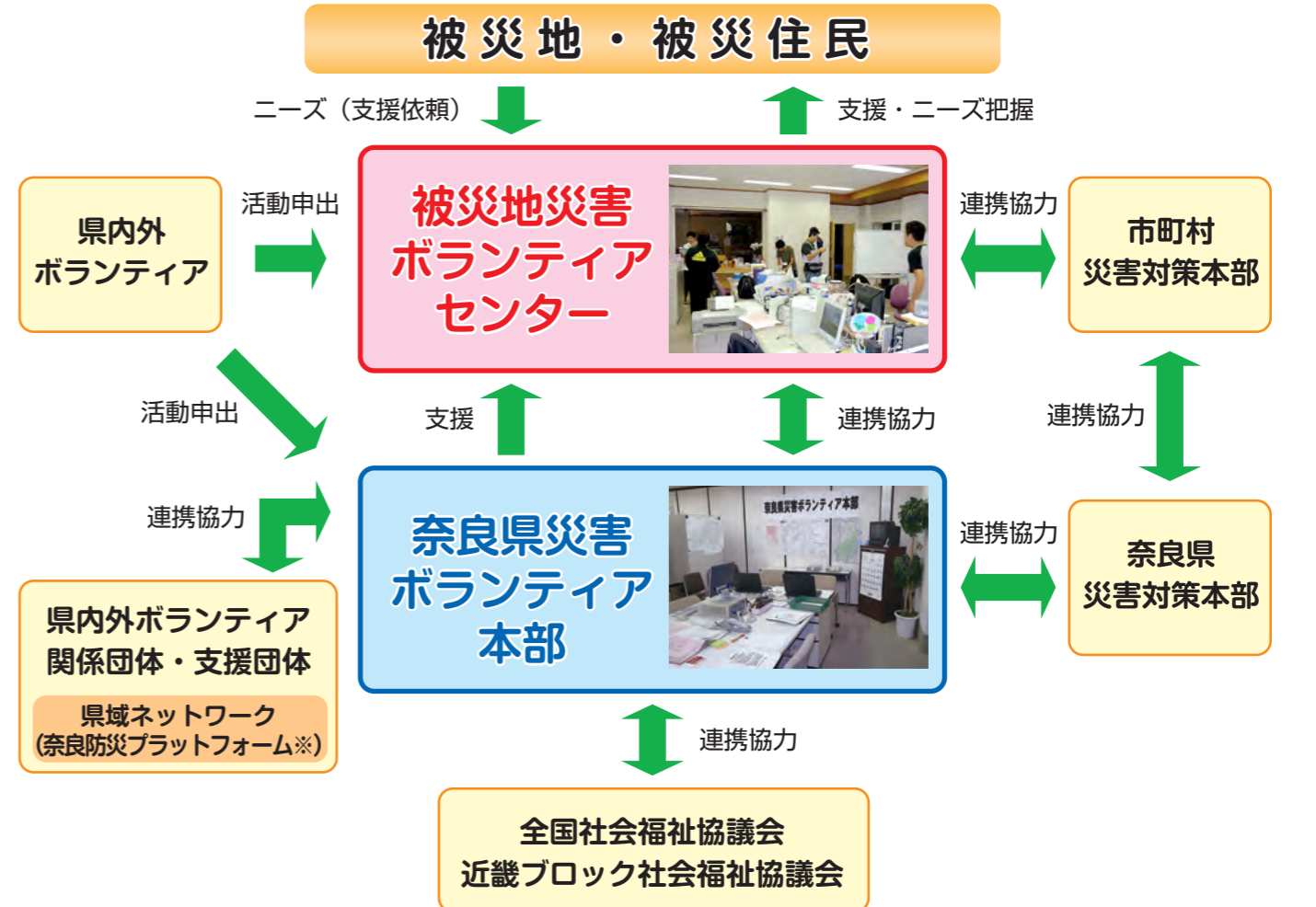
災害が発生し、災害の規模、被害の状況が大きい場合は、「奈良県災害ボランティア本部」が設置されます。

奈良県災害ボランティア本部では、被災地における災害ボランティア活動に関する情報の収集・発信や、災害ボランティアの受入・派遣調整などを行います。

また、被災市町村において、「災害ボランティアセンター」が設置された場合は、その運営支援を行います。

災害ボランティアセンターとは？

災害ボランティアセンターとは、災害発生時に、被災した住民から困りごとの相談に応じ、各地からのボランティアを受け入れ、必要な支援や調整を行うセンターです。住民の暮らしを支援する社会福祉協議会などにより被災地に開設され、被災地住民とともに復旧・復興に取り組みます。



※「奈良防災プラットフォーム」：災害発生時に迅速かつ効果的な救援活動を行うために、被災地内外の各団体・機関が互いの特性や機能を活かしながら、総合的・一体的な復興支援に取り組む協働の場。
（平成30年10月現在、県内の21団体・機関が参加）

災害ボランティアセンターの役割

◆被災された方の「助けて欲しい」とボランティアの方の「助けてい」思いをつなげます◆

【被災された方にとっては…】

自分たちだけではどうにもならない困りごとについて相談し、支援や応援を依頼できる場所。

～たとえば～

- ・家の中や庭に泥が入ってきて家族だけでは掃除が追いつかない…
→泥の撤去、室内・外の掃除のお手伝い
- ・浸水によって、家具や電化製品等が使えなくなった…
→家具等の運び出し、移動
- ・電気、水道、ガスが使えないのでご飯が作れない…
→食べ物や水の運搬、買い物、炊き出し



特に支援や応援が必要になる可能性が高い方

一人暮らしのお年寄り

妊婦さん、赤ちゃん

障がいのある方

外国人の方

【ボランティアの方にとっては…】

～たとえば～

- ・被災地の情報（地理や危険な場所など）を案内してもらえるところ。
- ・被災者の方が手伝って欲しい内容（要望）を案内してもらえるところ。
- ・ボランティア活動をサポートしてくれるところ（安全な活動、ケガへの対応など）。

災害ボランティア活動に行く・・・その前に！

ボランティア活動が被災地の人々や他のボランティアの負担や迷惑にならないよう、一人ひとりが自分自身の行動と安全に責任を持つ必要があります。

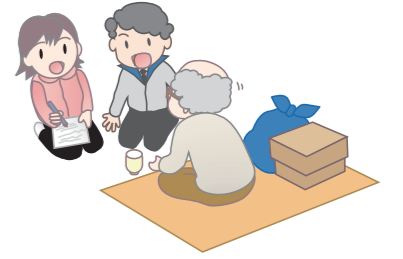
以下に、活動に行くまでの主なチェックポイントをまとめました。

OKなら
✓しよう！

◇ 災害ボランティアセンターが開設されているか？（場所、開設時間）	
◇ ボランティアの募集の範囲は？（市町村内／県内のみか、県外からも可能か）	
◇ 現地の状況（余震や二次災害の恐れ）、ライフライン（電気、ガス、水道など）、交通、天候は？（天候等により活動が中止になる場合もあります。）	
◇ 現地への交通手段（駐車場）、食事や宿泊場所（必要な場合）の確保はできたか？（ボランティアバス等が運行されることもあります。）	
◇ 求められている活動の内容は？（その日のニーズによって異なることもあります。）	
◇ 事前に申込が必要か、当日受付か？（個人で活動、団体で活動かにより異なることもあります。）	
◇ 活動時の服装や持ち物は？（活動内容や天候によって異なることもあります。）	
◇ ボランティア活動保険の加入は済ませたか？体調は万全か？家族等へ行き先を伝えたか？	

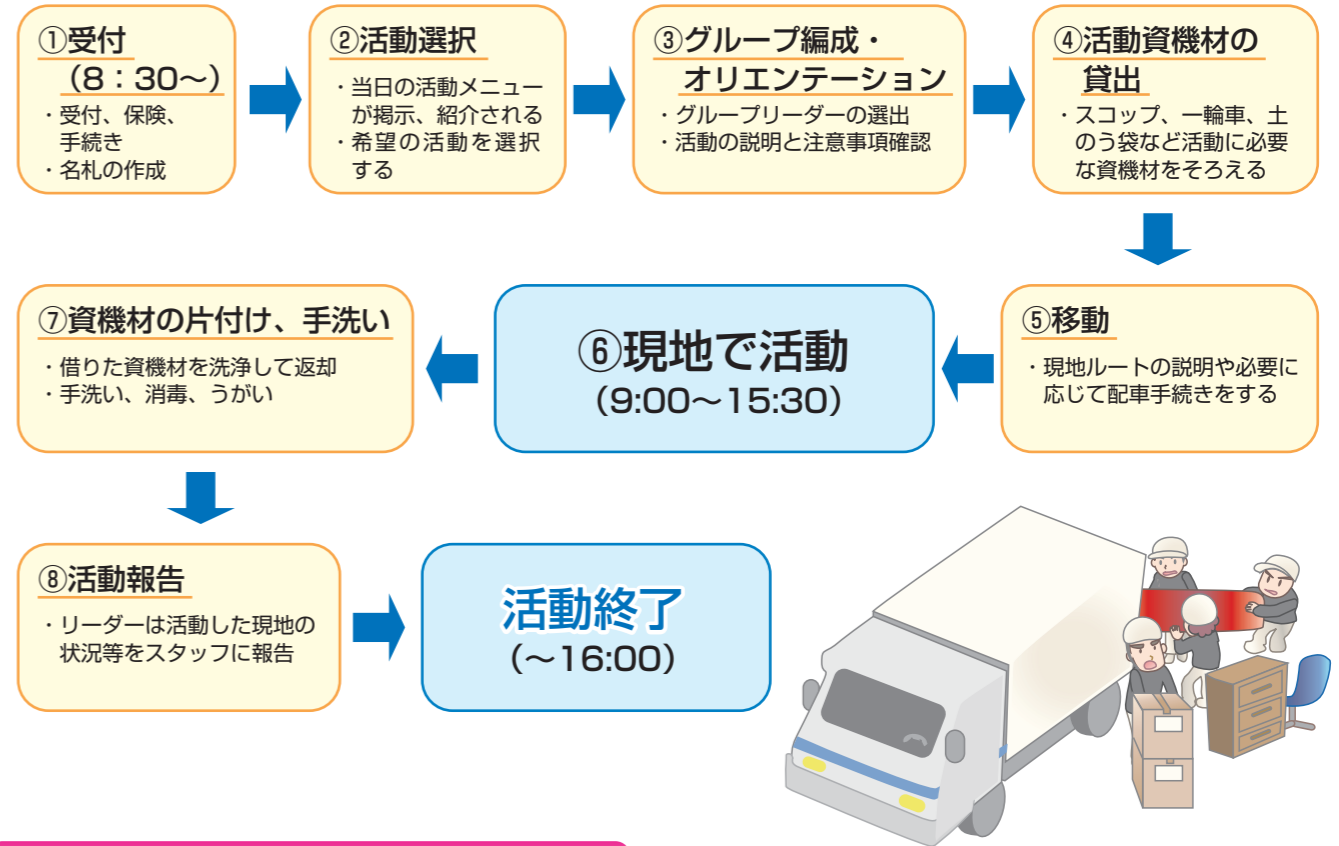
被災地（災害ボランティアセンター、自治体等）への電話での問合せは控え、可能な限りホームページで確認してください。また、状況は日々変わりますので、最新情報をこまめに入手しましょう。（全社協 被災地支援・災害ボランティア情報 <http://www.saigaivc.com/>）

災害ボランティアセンターでの活動の流れは、以下のとおりです。下記の活動のころえをしっかりと確認して活動しましょう。



※実際には、災害の規模や被災状況、各災害ボランティアセンターの体制により異なることがあります。

ボランティア活動の流れ（例）



ボランティア活動のころえ

被災地でのボランティア活動は、被災された方、避難されている方のために行う活動です。「寄り添う心を忘れず」に、以下の事に留意して取り組みましょう。

- ◆被災者の立場に立った行動を
 - 被災者の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいなど、基本的なことを大切に（写真撮影は原則禁止です）。
- ◆ルールを守って
 - 勝手な判断はせず、グループで行動し、困ったら災害ボランティアセンターに相談を。
- ◆断る勇気を持つ
 - 危険なことや出来ないことははっきりと、無理な活動は思わぬ事故に。
- ◆地元住民の自立を支援
 - 被災者に協力して一緒に復興を目指す気持ちを持って。
- ◆何かあった時の備え
 - 万が一の時のために、必ず「ボランティア活動保険」（※）に加入しましょう。※最寄りの社会福祉協議会で加入できます。事前に加入しておけば、被災地までの移動時の事故やケガも補償対象となります。（くわしくは、<http://nara-shakyo.jp/publics/index/106/> にてご確認ください。）